



見たら長生きする カノープスを見よう



天空が広がるうぶやまの高原には冷たい北風が吹き渡り、天文台の周りは凍てつき厳冬期の様相を呈していますが、少しずつ陽が長くなっていき、これからだんだんと春の気配が感じられるようになることでしょう。

今年の冬の寒さは例年より厳しく、産山村は先日 -12°C を記録しました。星空は東から春の星座が昇り始め、秋の星座は西へと沈み始めています。夕方、太陽が沈んだ西の空には -4 等級で金星が宵の明星として明るく輝いています。また、近くには木星が -2 等級で輝いています。陽が落ちると天高く冬の星座が輝き、1等星（カペラ・ポルックス・プロキオン・シリウス・リゲル・アルデバラン）を結んだ「冬のダイヤモンド」や、プロキオン・ベテルギウス・シリウスを結んだ「冬の大三角」、さらに南の空低く祖母山の山の端に、この星を見たら長生きするといわれているカノープス（古代の中国では寿老人、南極老人星と呼ばれた）が良く見えます。このように、冬は1等星が8個もあり、星空は大変賑やかです。空は凍てつきますがとても澄み渡り、絶好の天体観測シーズンとなります。

また、今年の冬は12月に地球に最接近して遠ざかりつつある赤い火星が、まだ0等級の明るさでおうし座のアルデバランの近くに位置しています。ちなみに、話題のカノープスは午後7時頃過ぎ南東の空に昇ってきます。午後8時以降見られるようになり、南中するのは午後9時頃で、その時の高度は、産山では約5度と大変低く地平線すれすれに見ることができます。

澄み切った冬の夜空に輝く星を見に、うぶやま天文台へぜひお越しください。ただし、天文台のドームで寒い北風はしのげますが、観測機器保護のため天文台内部はホットカーペット以外の暖房はいたしませんので、防寒対策を十分に取ってからお越しください。

期 日	:	令和5年2月20日（月）
時 間	:	午後6時～午後10時
場 所	:	うぶやま天文台 （熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内）
観察対象	:	次ページに掲載
持 参 物	:	・防寒着 ・星座早見盤（一般参加者で持ってない方には当日配布します）
料 金	:	村内の方：全員無料 村外の方：高校生以上300円 小中学生200円 未就学児無料

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。
天候不良などで実施できない場合は延期します。その場合は、再度お知らせ端末にて連絡します。
上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会までご連絡下さい。

申込み・お問合せ先

産山村教育委員会

TEL 0967-25-2214

FAX 0967-23-9670

今回の観察対象



オリオン大星雲 (M42)



冬のダイヤモンド



冬の大三角
(ベテルギウス、プロキオン、シリウス)



カノーパスは、産山では2月中旬の20時頃、地平線すれすれに南中して数時間観察できます。この星は、南の空低くにあり関東以北では見ることができず、古来中国では寿老人、南極老人星と呼ばれ、見た人は長生きすると言われています。

カノーパスの探し方 (国立天文台より)